

U 協 近 畿 通 心 ～ U 協 を 使 い 倒 し ま し ょ う ～

【 は じ め に 】

近畿事業推進部の川畑です。秋があっという間に過ぎて冬が来そうな感じですね。

1ドル150円と32年ぶりの円安となっています。為替介入で市場は乱高下していますね。32年前というと、1990年（平成2年）の国税庁の民間給与実態統計調査によると当時の平均給与は425万円でした。2020年は423万円、2021年は443万円と少しですが、上がっていますね。

ピークは1997年（平成9年）の467万円です。32年前って結構円安でしたね。

最近急激に円安が進んだので驚いています。32年前もそうでした。あの頃と産業構造も違うので一概には言えないですが、過去経験したレベルであることは頭の片隅においていた方がよさそうですね。

その後クリントン政権の時のように、アメリカにお金が集まって凄い好景気にアメリカが成るのか、私は注目しています。

話は変わりますが、借りている畑のトウモロコシの収穫後、土壌整備して植えたジャガイモが3種とも順調に芽を出しました。植物が芽を出すところを見るといつも感動します。何かいい感じなのです。

電話対応コンクールの府県代表も8名が無事に決まり、選手の皆さんは全国大会（山口）に向けて厳しいトレーニングを積んでいます。代表選手はこちらをご覧ください。 → <https://oucon.jp/player.php?ind=5>

応援メッセージも入れて頂けると大変嬉しいです。

応援メッセージは今年からテキスト以外に画像（JPG、PNG、PDF）も送ることができるようになりました。

また、当日のライブ中継はこちらからご覧ください。 → <https://oucon.jp/>

今年は3年ぶりのリアル開催です。全国から57名の選手がKDDI維新ホールに集い競い合います。感染予防の観点から、選手、関係者、事前登録者と入場制限がありますが、それでも大ホールで選手の緊張は半端ないです。

山口での全国大会が楽しみです。近畿2府4県の選手の活躍を期待しています。

今月もU協近畿通心を愉しんで頂けると嬉しいです。



ジャガイモを3種類植えました。芽欠きして土寄せしたところです。沢山実ってくれますように。大きくなあれ。

【 ICT用語豆知識（IPアドレスとMACアドレス） 】

IPアドレスとMACアドレスって、ご存じでしょうか。

IPアドレスとは、ネットワーク上におけるコンピュータの住所を示す情報です。大まかに分けると“グローバルIPアドレス”と“プライベートIPアドレス”に分けられます。グローバルIPアドレスは世界中で一意的IPアドレスであり、インターネットを利用する際に割り当てられるIPアドレスです。対してプライベートIPアドレスは、社内ネットワークや自宅ネットワークなどの閉じられた環境下で利用されるIPアドレスであり、こちらはネットワークが異なれば同じIPアドレスを利用できません。

グローバルIPアドレスはISP（Internet Service Provider）と契約しなければ取得できませんが、プライベートIPアドレスは管理者が任意に設定可能です。

従来のIPアドレスは0～255の数字4組を組み合わせた“IPv4”が用いられてきましたが、スマートフォンやIoTの普及によってIPアドレス数の枯渇が問題視されています。そこで近年普及が進んでいる次世代のIPアドレスが“IPv6”です。IPv4では43億通りのIPアドレスが管理できますが、IPv6では43億の4乗通りのIPアドレスが管理できます。

MAC（Media Access Control）アドレスは、ネットワークアダプターに割り振られる固有の識別番号です。「00:01:C1:FF:80:1A」のような16進数12桁で表され、世界中でかぶることのない番号となっています。前半の6桁はベンダ識別子と呼ばれ、メーカーごとに割り振られており、後半6桁はメーカー内の管理番号が付与されています。IPアドレスと似ていますが、IPアドレスはある程度自由に設定できるのに対し、原則MACアドレスは書き換えることができません。

IPアドレスはデータを送る相手を特定し、最適な経路で送信するためのアドレスですが、MACアドレスは隣接する機器同士の通信を実現するためのアドレスです。ネットワークを利用するうえで、私たちはMACアドレスを意識する機会はほとんどありませんが、IPアドレスと同様に通信を実現するために重要な要素の一つとなっています。

先月は第97回「多すぎるカタカナ語」（2022.4.12）をご紹介しました。
いかがだったでしょうか。今回は第98回「褒め上手になる」をご紹介します。

「褒める、叱る」は人間教育にとって欠かせない「心の技術」です。ところが、この技術が昭和の後半から平成、令和とじわじわと劣化しているように思います。その懸念が、ここ数年のITの急速な進歩とコロナ禍で一気に進みました。人と人との接触が薄れ、心の技術を支える信頼感が希薄になったせいでしょうか。それだけに、あえてこの時期に、「褒める、叱る」について考えることにします。今回はまず「褒める」です。

低下する「褒め言葉」の存在感

「褒める、叱る」という行為は、まず家庭教育の躰しつけに始まります。そしてすぐに学校教育でも大事な役割を担うことになります。やがて大人になっても、職場での人材育成や人間力の形成にも大きく関係してくるのです。しかしその割には、褒める技術を磨こうと意識して実行している人は少ないように思います。その結果、褒め言葉の存在感はどんどん低下しているのです。

本来「褒める」とは、大きな責任を背負った大事な行為のはずです。「褒める」には、相手を喜ばせるだけでなく、**その一言で相手にやる気を起こさせる重要な役目がある**のです。

しかし、うかがう限りでは、少子化の中での子育てには、厳しさよりも甘い褒め言葉が多いようです。一方、中小企業のメーカーで役員をしている知人から聞いた話ですと、パワハラやセクハラ批判を恐れる上司たちは、うっかり褒め言葉も言えずに、無難な日常会話でかろうじて部下との接点を保っているのが現状だと言うのです。

長所は努力しなければ見えない

ここで原点に立ち返って、「褒める」とは何かを考えましょう。**褒めるとは、相手の人柄、考え方、行動、発言、能力などを認め、その共感を言葉にして相手に伝えること**です。

古来、勤勉で誠実な日本人は、人を思いやる優しい心を持っています。しかし、その心を言葉にして伝えることが苦手でした。極端な言い方をすれば、人を褒める訓練などはしたことがないと思います。人の欠点は少しつき合っていれば、自ずと見えてきます。しかし、**人の長所は努力しなければ見えにくいものです**。ですから、人の悪口はいくらでも言えますが、**褒め言葉の使い方は意外に難しいのです**。

私の褒められ経験

褒められて怒る人は滅多にいないでしょう。たとえそれがお世辞だと分かっているとしても、そう悪い気はしないものです。むしろそれでやる気を出して頑張る人だっているのですから。

数十年の昔、実は私がそうでした。東京のアナウンス室には、毎晩6人のアナウンサーが宿泊勤務についていました。泊り明けの翌日は6人とも公休でした。その日にゴルフに行く相談が持ち上がりました。先輩3人の都合は揃ったのですが、一人足りない。そこで一番下っ端の私が半強制的に仲間引に引張り込まれたのです。

全くの初心者でゴルフのゴの字も知らなかった私です。「野球やテニスと違って、止まっている球を打つんだから簡単だよ」先輩アナのその一言に騙されて、貸しクラブを担いで、ついにゴルフデビューをしたのです。もちろんスコアは散々でしたが、プレイが終わってお茶を飲みながら、3人の先輩が口々に言うのです。「初めてでこのスコアは凄い！」「本当に初めてなの？嘘だろう？」「天才だよ！こんなビギナー見たことない」私はすっかりその気になりました。クラブを買い揃え、練習場にも通いつめました。それから2年ぐらい経ったある日、件の先輩たちが笑いながら私に言いました。「岡部君、あの時さあ、その気になっただろう。最初に寄ってたかって褒めると、みんなその気になるんだよ」……。

ゴルフとは別に、大変良い勉強をさせてもらったのでした。これもまた、日ごろの信頼関係があつてのことだと思えます。

褒める点を一点だけ見つける

初対面の人に会った時に、私はその人を褒める点を一点だけ見つけるようにしています。

ファッションセンスでも話し方でも、気配りでもマナーでも、一言の言葉でも。その一点からその人の印象が決まります。記憶に残ります。そこから相手が好きになります。そしてその一点を、ためらわずに、具体的な褒め言葉にして伝えるようにしています。以前にご紹介しました慶應義塾大学の故・岩松 研吉郎さんの、「**話し言葉は正邪善悪（せいじゃぜんあく）※で考えないこと、大事なのは好きか嫌いかだ**」という言葉、あらためて思い出します。

※正邪善悪（せいじゃぜんあく）：良いこと、悪いこと。物事のよし悪し。

【ユーザ協会の得意技！ 人生100年時代をICTで支えるデジタルヘルス】

今回から人生100年時代をICTで支えるデジタルヘルスをご紹介します。人生100年時代と言われますが、100年時代とはリンダ・グラットン教授の著書『LIFE SHIFT』からきています。「**2007年に日本で生まれた子供については、107歳まで生きる確率が50%ある**」ということで**我々現役のことではないことに注意が必要**です。そうでないと無用な心配をすることになります。ここ大事な前提ですのでご注意ください。

高齢化が進み「人生100年時代」と言われる中、ビッグデータやAI（人工知能）、ICTなど最新のデジタル技術を駆使した「デジタルヘルス」による質の高い医療が注目されています。

第1回の今回は、デジタルヘルスを理解するために、まずは医療のデジタル化の現状とその背景としてある「society5.0」時代の医療について解説します。

ビッグデータをAIで解析した新しい医療の形

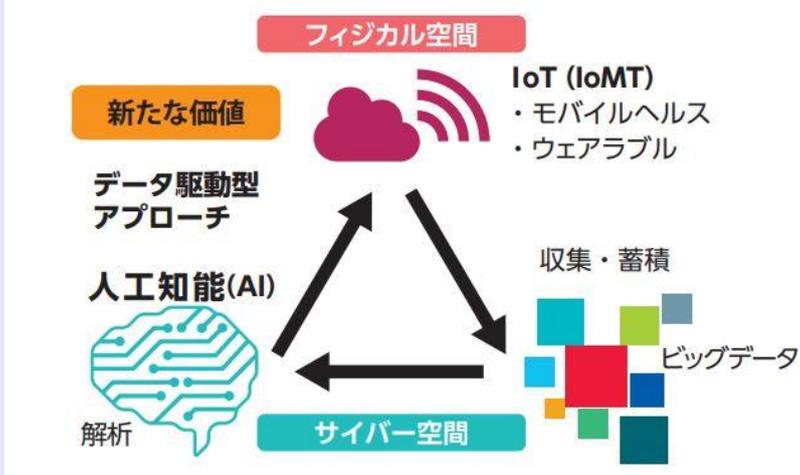
医療やヘルスケアの分野でデジタル技術を活用した「デジタルヘルス」が近年、注目を集めています。このデジタルヘルスは、なぜ注目されているのでしょうか。デジタルヘルスを推進することのメリットを理解していただくためにも、まずはその背景を確認していきましょう。

内閣府は、2018年に策定した第5期科学技術基本計画の中で、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の未来社会像「Society5.0」を提唱しています。このSociety 5.0で実現する社会では、現実空間からIoT（Internet of Things：身の回りのさまざまなモノがインターネットにつながって相互通信すること）や計測機器を通じてすべての人とモノがつながり、あらゆる情報がビッグデータとして集積されます。そして、**収集したビッグデータをAIによって解析し、現実空間にフィードバックすることで、これまでにはなかった新たな価値が産業や社会にもたらされる**と言われてしています。

医療も同様で、**IoMT（Internet of Medical Things：医療におけるIoTのこと）**や計測機器を通じて、一人ひとりの症状や生体情報、生活習慣などのリアルタイムに集められたデータ、電子カルテなどの医療情報、生活環境などの情報といったさまざまなデータをビッグデータとして収集します。そして、AI解析することにより、新たな価値がもたらされます（図参照）。

「予防」「個別化」「予測」「参加型」医療からなるP4医療※1は、その最たるものです。Society5.0で実現する医療では、医療施設を中心に行われる従来型の医療ではなく、日常生活圏において患者さんや市民を中心に、生涯にわたった予見的な医療が行われると考えられています。

【図：Society5.0時代の医療】



（出典：猪俣武範 . Society5.0時代の医療 . Journal of Internet of Medical Things. 2021;4(1):4-7より作成）

IoMT などから収集されるビッグデータを基にAIなどで解析・問題解決すること（データ駆動型アプローチ）で、新たな価値（P4医療など）を社会にもたらす

※1 P4医療：患者に起こり得る変化を予測(predictive)し、個々の患者に合わせ(personalized)診断や治療を行い、病気を予防(preventative)し、患者が積極的に参画する(participatory)医療。

【ユーザ協会の得意技！ 人生100年時代をICTで支えるデジタルヘルス（続き）】

多くの分野で言われているように、医療分野でも、ビッグデータは価値ある新しい資源と考えられています。ところが、ビッグデータは「多量」「種類・形式が多様」「発生・更新速度が迅速」という特徴を持っていて管理や分析が困難なため、これまでは医療や健康分野ではあまり活用されてきませんでした。

しかし、近年のICTの進歩によりコンピューター性能が飛躍的に向上し、AIによる分析手法が登場したことに伴って、医療・健康分野においても活用されるようになってきました。

そして、医療の質の向上や効率化だけでなく、研究開発などのイノベーションにも貢献するものとして期待されています。

個々に最適化された医療を提供する時代に

これまでの医療におけるビッグデータは、カルテに記録された診療情報などを電子化して蓄積したデータや、ある病気にかかった集団を対象にした調査結果のデータなどが中心で、集団から得られた見方を個人に当てはめる、画一的な医療に利用されてきました。

しかし現在、ゲノム・オミクス情報※2や、モバイルヘルス※3やウェアラブル機器※4などのIoTから収集された、より個人的な情報を蓄積する「**新しい医療ビッグデータ**」へと大きく変化しようとしています。これによって、個人に関する多様かつ膨大なデータを取得して、パターンを網羅的に調べることにより、治療の個別化を目指すP4医療が可能になりつつあります。

そもそも病気であるか否かの境界は明確でなく、その原因や症状なども多様です。

例えば、最も多い眼疾患の一つであるドライアイの場合は、湿度・花粉・PM2.5など環境の因子、食事・喫煙・運動・コンタクトレンズの装用などの生活習慣、加齢・性別・遺伝・家族歴といった個人的な因子が複合的に関連して発症や経過に影響を及ぼします。

そして症状は、目の疲れや乾き、視力の低下、まぶしさを感じるなど多岐にわたります。しかし、これまでの医療では、患者さんの多様な症状や発症の原因に対して画一的な治療にとどまっていた。こうした課題を解決するためには、患者さん一人ひとりの症状や生活習慣などに関する情報を包括的に収集・分析して、最適化した対策の提案が必要なのです。

さらに近年では、「新しい医療ビッグデータ」への転換のほかに、病気の多様な症状などに対応するため、「**データ駆動型**」の生命科学が登場してきています。データ駆動型とは、簡単に言えば、ビッグデータを分析・可視化して問題解決に結びつけることです。

これまで、分子、細胞、組織、個体といった階層ごとに専門分野が分かれていたものが、ビッグデータを基に階層を横断して分析・理解することが可能になり、病気の原因となる遺伝子の探究や、新規バイオマーカー※5の創出、創薬※6など、私たちの健康に役立つ分野での研究・開発が活発になってきています。

Society5.0時代の医療の可能性

デジタルヘルスが注目を集めている状況には、これまで見てきたような背景があります。膨大な情報の収集・分析はデジタルの得意分野であり、近年のコンピューター性能や情報通信技術の飛躍的向上や新たな分析方法の登場により、P4医療のような医療や研究開発に新たな可能性が拓けたのです。

このようなSociety5.0時代の医療でもたらされる新たな価値のさらなる進化を目指すためには、医療従事者の努力だけでは限界があります。そのためにも、産学官民すべての力を集結して研究開発のための仕組みづくりを進めるとともに、国民一人ひとりがSociety5.0時代の新しい医療システムを理解し、積極的に参画することが重要なのです。

※2 ゲノム・オミクス情報：遺伝子情報を基に、生体を構成しているさまざまな分子を網羅的に解析した情報。

※3 モバイルヘルス：スマホやタブレット端末を利用して行う医療や診療サポートのこと。

※4 ウェアラブル機器：手首や腕、頭などに装着するIoT機器やコンピューター。

※5 バイオマーカー：ある疾患の有無や、進行状態を示す目安となる指標（物質など）のこと。

※6 創薬：病気の診断や予防、治療などに役立つ新たな薬を開発・製品化すること。またはその過程のこと。

【お役立ち情報：21世紀のリーダーシップ 偏差値教育外で磨かれる変革者とは3】

意外なルートから起業して厳しい世の中で面白い活躍をしている起業家4名に、波瀾万丈の物語を語っていただくシリーズを受講しました。大変元気をいただきました。

21世紀のリーダーシップはこういう方が発揮していくのでしょうか。今回は、3人目として株式会社バニッシュ・スタンダード 代表取締役CEO 小野里 寧晃 氏の話をご紹介します。

ホームページはこちらです。<https://www.v-standard.com/>

バニッシュ・スタンダードは、EC全盛時代、陰になって働く販売スタッフに焦点を当て、企業の成長を支援されています。面白い、いい取組ですね。

代表取締役CEOの小野里氏は、大学を2週間で退学、クラブDJのプロ断念、300社の面接で全敗など、さまざまな失敗を自らの糧として、素晴らしいひらめきを武器に事業を成功に導いていらっしゃいます。**ITの発展で忘れられていた販売員の力に光を当て、ECサイトに販売員が立つことで、店舗スタッフの年収をアップ**させました。

なりたい職業ランキングに販売スタッフを再登場させるべく奮闘されています。

小野里氏は、1982年群馬県生まれ、大学に進学するも肌に合わず中退、ウェブデザイナーになるため専門学校に進み、就職活動に難渋されましたが奇跡的に老舗のウェブ制作会社に拾われました。

寝る間も惜しんで仕事に励んだ末、2年半で部長に昇進し、28歳でEC請負を行う株式会社バニッシュ・スタンダードを設立されました。

しかし、経営不振が続き、社員ゼロ、数億の借金を背負ってしまいました。その時友人のひと言をきっかけに、「**STAFF START**」を開発したことで順調に事業を伸ばし、2019年には、投資なしの状態のまま実質無借金経営に返り咲かれました。

小野里氏が考える成功に必要な要素は、以下の4つとされていました。

- ①常にネガティブでいること
- ②ニーズが高い特殊能力を磨くこと
- ③無理と言われる夢を持つこと
- ④覚悟を背負うこと

小野里氏は、

・ネガティブだからこそ何事にも真剣に一生懸命取り組める。企画能力をトレーニングすることによって、発想力が格段に上がり、求められる人材へと成長した。

・さまざまな覚悟を背負うことで、前に進む原動力を得て突き進むことが可能となる。

・覚悟とは、自分を変える自分との約束で、与えられたしたくもない仕事を全身全霊で何でもやる覚悟を持つことで、結果的に成功を手に入れることができたと話されていました。

2016年9月、小野里氏が33歳の時に「**STAFF START**」をオープンされました。

同サービスは、ECサイトが売り上げを伸ばす一方で、店舗は閉店するなど、店舗スタッフを苦しめている現状が発想の原点にあります。

相対する企業の立場としては、ECを強化するため店舗を閉めざるを得ないです。このスタッフと企業双方の課題を解決するサービスとして、「**STAFF START**」は生まれました。

店舗スタッフがECサイトに登場し、売上が個人の評価につながる仕組みを提供しています。従業員の成功体験は企業から評価され、個人のインセンティブにつながります。

オンライン接客スタッフによる接客（E2C）意欲の向上をシステムとして仕組み化したバニッシュ・スタンダードの今後に注目したいですね。

<原稿大募集中！ご紹介します。>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。
いつでも待ってま～す。写真も大歓迎です。

送り先：f.kawabata@jtua.or.jp（川畑）までファイル（A4）を送ってください。

今後の研修・セミナー案内

■ 2022年11月25日(金) 13:30～16:00 絶賛募集中!

Withコロナでコミュニケーションに苦労されていませんか?

本講座は、昨年某企業の管理者(支店長向け)に開催された講座で信頼関係を構築するのに使えると大変好評だったものです。その講座を当協会が発掘して今回開催に至りました。いまだからこそ、コミュニケーションで信頼関係を築くことがとても大事だと改めて言われています。では、どうしたらいいのでしょうか。そのヒントがこの講座にあります。インタラクティブ(双方向)ですので、気づきや学びが多い講座です。当協会自信の新講座です。経営者の方、管理者の方はぜひご参加ください。
↓ 詳しくはこちらをクリックしてください。

[【オンライン研修】心の窓を開くコミュニケーション～信頼関係を築く伝え方～ | Coubic](#)



心の窓を開くコミュニケーション ～信頼関係を築く伝え方～

■ 2022年11月29日(金) 13:30～15:00 近日募集開始

【オンライン研修】2022サイバーセキュリティ対策講座

本講座は、セキュリティ対策における様々な分野のプロフェッショナルから、サイバー犯罪等の情勢、対策のノウハウ、万一被害を受けてしまった場合の備えなどを学んで頂きます。

本講座は、貴社の情報セキュリティ社内研修としてお使いいただけます。

忙しい経営者の方に代わりまして当協会が研修をいたします。

近日、各支部のHPにてご案内いたします。どうぞ、ご活用ください。

■ 2023年 1月12日(木) 13:30～16:15 企画

【オンライン】

大前さんに「2022年経済から見た今後の展望」(仮題)を学ぼう

来年も好評の大前さんに学ぼう企画です。

近日、各支部のHPにてご案内いたします。どうぞ、ご活用ください。

セキュリティの最新情報も
アップデートできます。
支部HPにて絶賛募集中！

あの講話がこの価格で聞けるなんて。

ユーザ協会
限定特別価格

BBT研修プログラムはコチラから



撮影/大田真三(小学館)

この値段でこのパフォーマンスにびっくりです。

あの大前研一さん率いるBBTの研修がユーザ協会会員様特典として利用いただけるようになりました。

BBTのコンテンツの中から、協会会員様のために特に選びました。
「見て学ぶ」と「参加して学ぶ」があります。

見て学ぶ

ビジネス講義映像

ブロードバンド・ラーニング(BBL)

詳細・お申込みはこちら



<経営者講義 - 19講座>

定価33,000円(税込)を当協会
会員様は**1割引29,700円(税込)**で
ご視聴いただけます。

どの講座も大前研一さんの講演以外に業界の最先端に行く経営者の
講演が盛りだくさん！ これからの経営のヒントがたくさんあります。

参加して学ぶ

詳細・お申込みはこちら

5,500円(税込)
でご視聴いただけます。



みんなで脳に汗をかこう！！

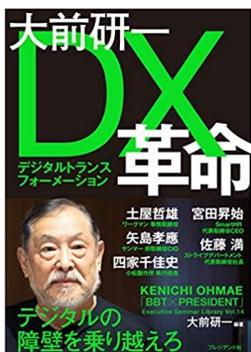
ビジネスアウトプットGYM

いつでも学べる動画で「インプット」し、
LIVEトレーニングで「アウトプット」

まるでスポーツジムに通う感覚で、
ビジネススキルをオンラインで鍛える

詳細はこちら！

<https://wstg-bbt.staging-bbt757.com/corporate/sd/063jtua/index.html>



<近畿6支部限定プレゼント>

新規ご入会様、既存会員様

本特典ご利用で「DX革命(大前研一著)」を
プレゼントいたします！

後日、連絡責任者様へ送付させていただきます。